

令和5年度 群馬県  
地域共生社会推進セミナー

# 市町村における包括的支援体制の構築に向けて

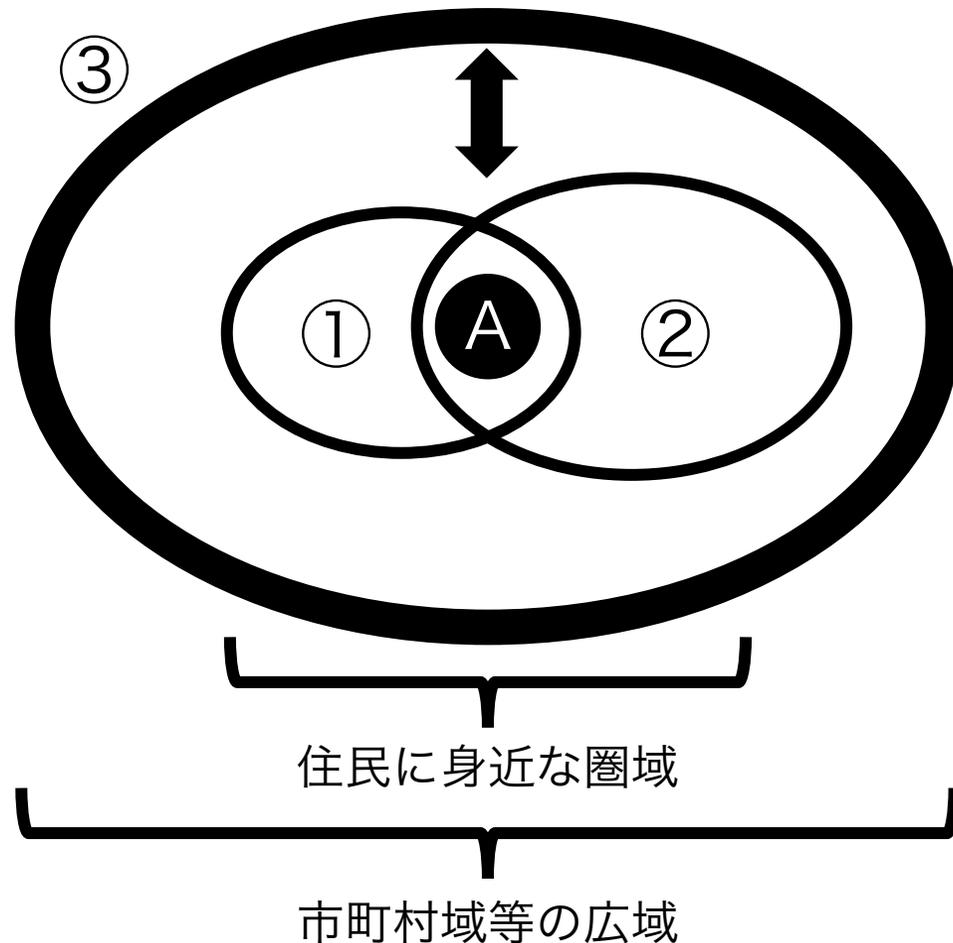


室田信一  
(東京都立大学)

# お話しする内容

1. 包括的支援体制とは
2. どんな状態が「うまくいってる」状態？
3. どんな状態が「避けるべき」状態？
4. 地域の実践に求められることとは  
→リーダーシップ、物語、戦略

# 包括的な支援体制の構築



A	生活課題を抱えた地域住民
①	地域住民等が主体的に地域課題を把握し解決を試みることができる環境。 構成メンバー：地域住民、ボランティア、地区社協、NPO等。
②	地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制。 構成メンバー：ボランティア、地区社協、市区町村社協、地域包括支援センター、障害者の相談支援事業所、地域子育て支援拠点、社会福祉法人、NPO法人等。
③	多機関の協働による包括的な支援体制。 構成メンバー：生活困窮者自立支援や保健・医療・福祉に限らず、教育や司法、住宅、多文化共生等に関わる幅広い専門機関。

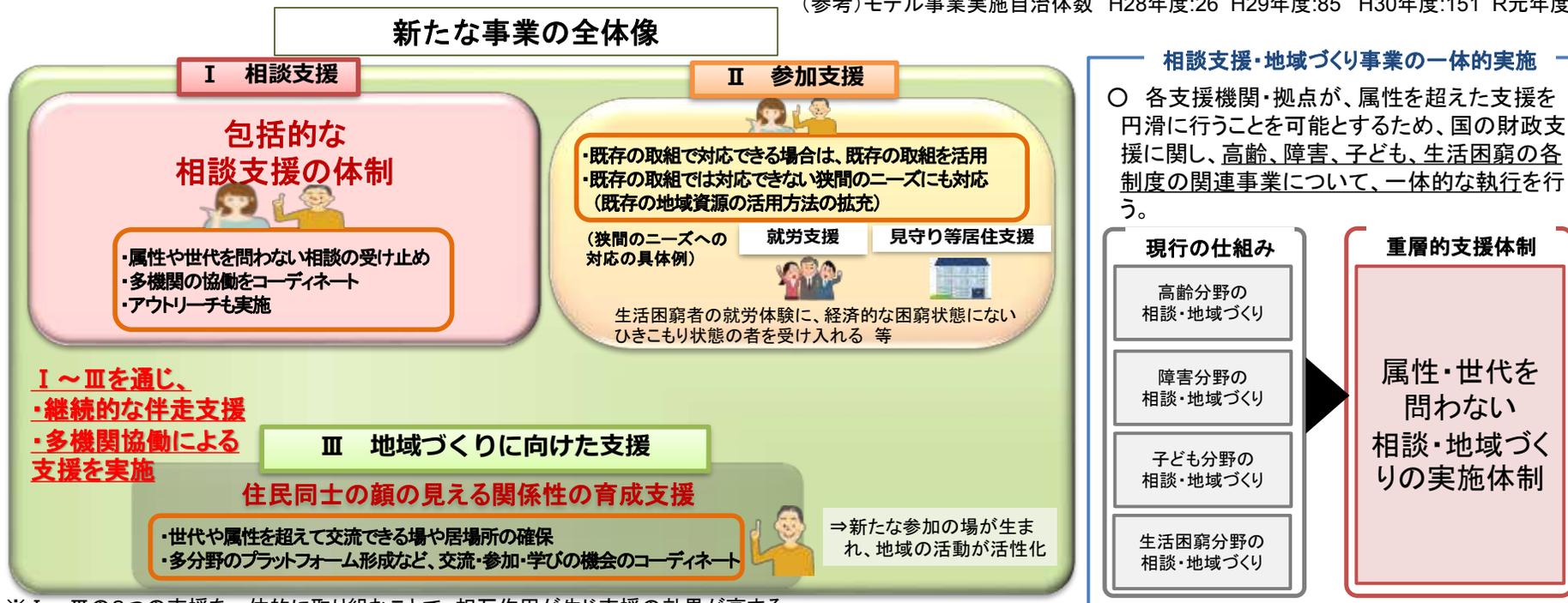
# 1. 地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する市町村の重層的な支援体制の構築の支援

- 地域住民が抱える課題が複雑化・複合化(※)する中、従来の支援体制では課題がある。 (※)一つの世帯に複数の課題が存在している状態(8050世帯や、介護と育児のダブルケアなど)、世帯全体が孤立している状態(ごみ屋敷など)
  - ▼属性別の支援体制では、複合課題や狭間のニーズへの対応が困難。
  - ▼属性を超えた相談窓口の設置等の動きがあるが、各制度の国庫補助金等の目的外流用を避けるための経費按分に係る事務負担が大きい。
- このため、属性を問わない包括的な支援体制の構築を、市町村が、創意工夫をもって円滑に実施できる仕組みとすることが必要。

## 社会福祉法に基づく新たな事業(「重層的支援体制整備事業」)の創設

- 市町村において、既存の相談支援等の取組を活かしつつ、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、**I 相談支援、II 参加支援、III 地域づくりに向けた支援を一体的に実施する事業を創設**する。
- 新たな事業は実施を希望する市町村の手あげに基づく**任意事業**。ただし、事業実施の際には、I～IIIの支援は必須
- 新たな事業を実施する市町村に対して、相談・地域づくり関連事業に係る補助等について一体的に執行できるよう、**交付金を交付**する。

(参考)モデル事業実施自治体数 H28年度:26 H29年度:85 H30年度:151 R元年度:208



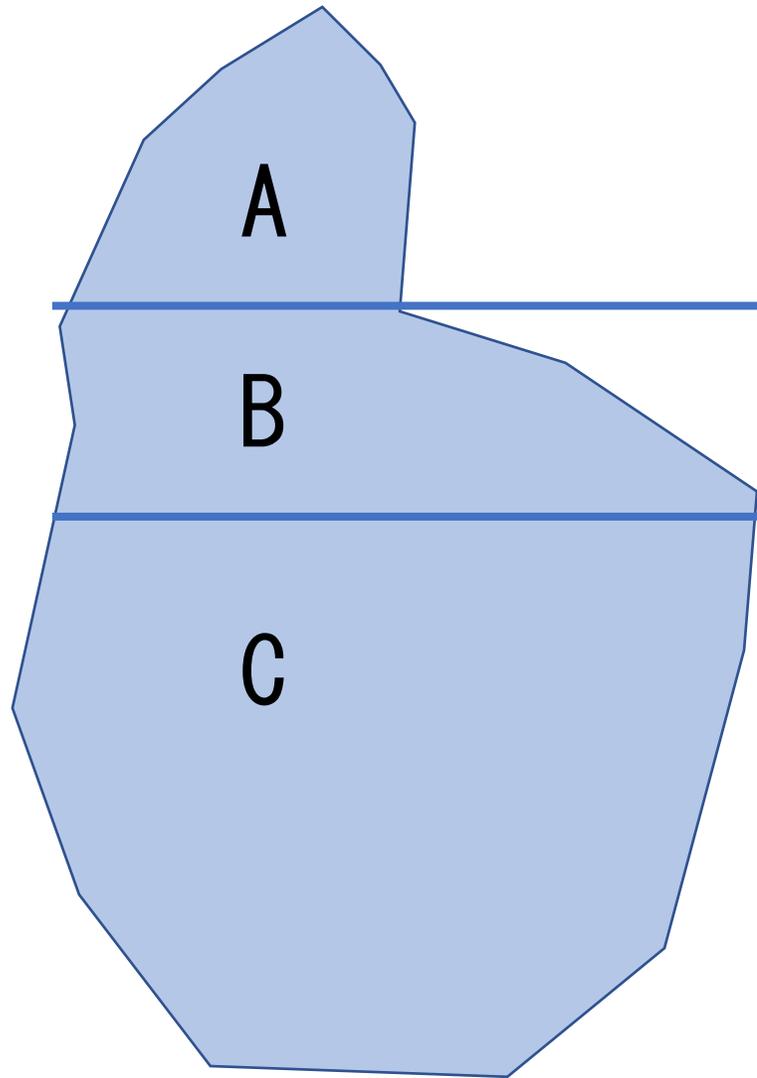
※ I～IIIの3つの支援を一体的に取り組むことで、相互作用が生じ支援の効果が高まる。

(ア)狭間のニーズにも対応し、相談者が適切な支援につながりやすくなることで、相談支援が効果的に機能する

(イ)地域づくりが進み、地域で人と人とのつながりができることで、課題を抱える住民に対する気づきが生まれ、相談支援へ早期につながる

(ウ)災害時の円滑な対応にもつながる

# 住民活動 の構造

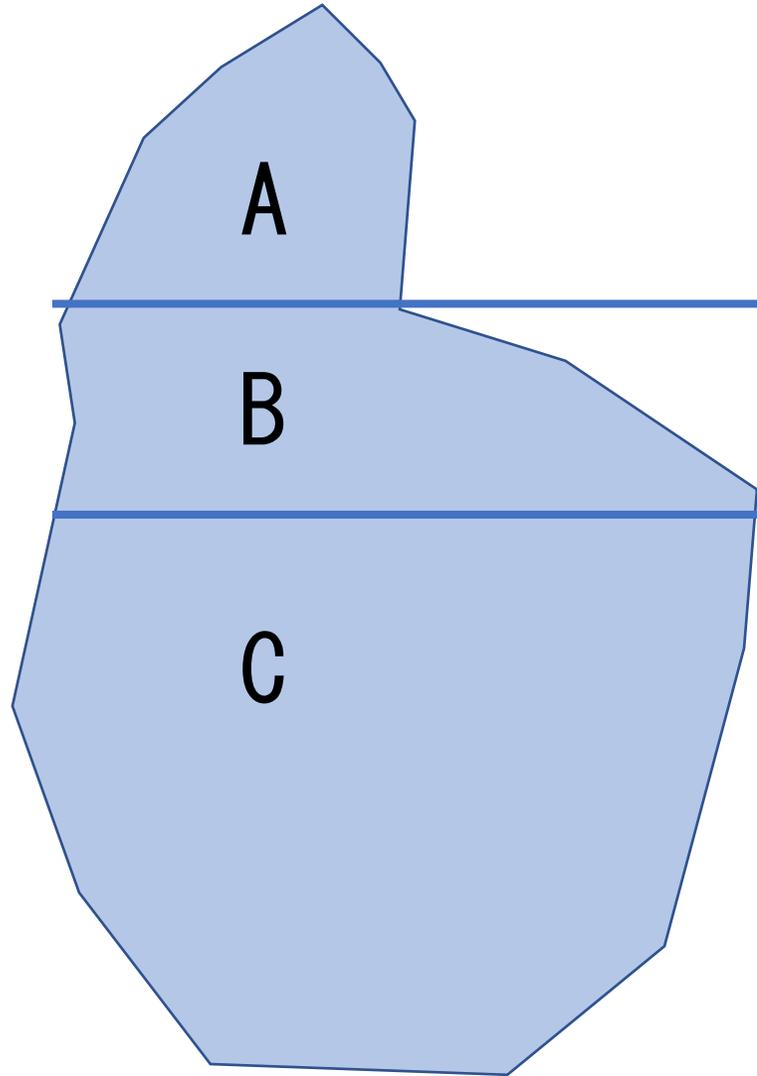


- 包括的な相談支援体制
- 参加支援の仕組み

- プラットフォーム
- 協議体
- ネットワーク

- 従来から存続する地縁関係
- 顔見知り、お互い様の関係
- 地域の活動などに参加・協力する関係
- 問題意識を共有する関係
- 住民/当事者の中に培われるリーダーシップ

# うまく いってる 状態

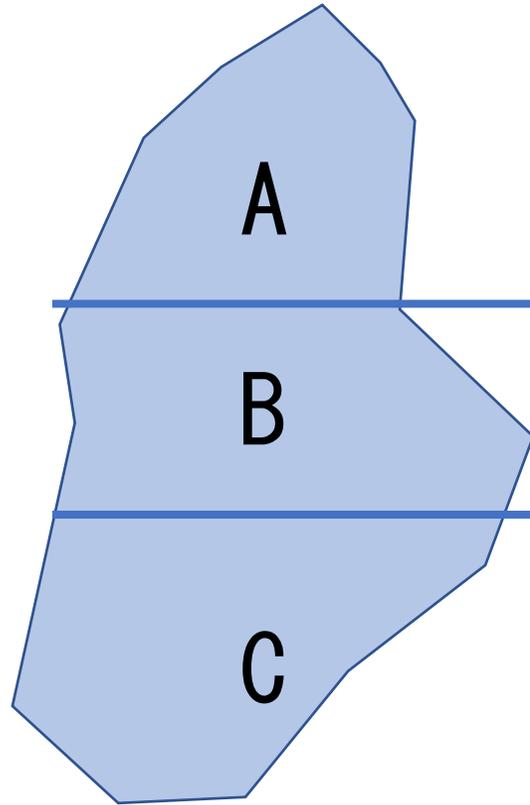


地域住民では対応が困難な相談に専門家が対応する  
専門家と地域関係者が協力して新たな対応策を開発する

地域の中で蓄積されたノウハウが共有される  
地域の中で対応できない課題の情報が集まる  
地域の資源に関する情報が集まる

地域の中で住民が顔を合わせる機会がある  
→地域の中で住民が他の住民のSOSに気づく  
→地域の中で対応策がとられる  
→地域の中に対応のノウハウが蓄積される  
→対応困難な場合は専門家に相談する  
→専門家のバックアップがあるので  
住民は安心して地域のSOSに対応できる

# 避けるべき状態



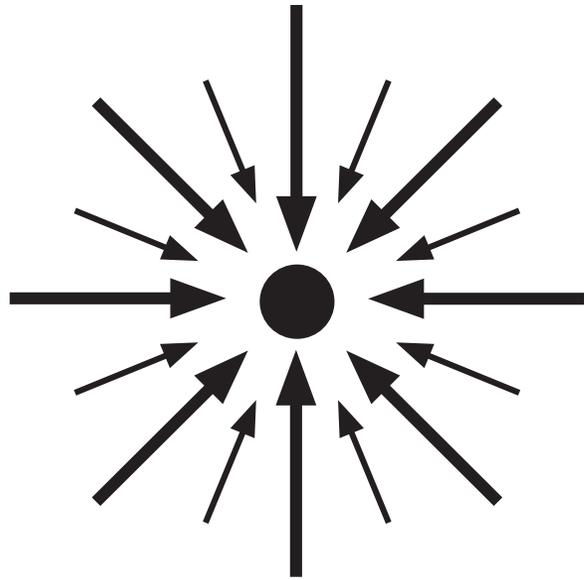
包括的な相談窓口はあるが相談が上がってくる  
ことがあまりない  
どのようにアウトリーチすれば良いかわからない  
相談を受けても制度外のつなぐ先がないのでケー  
スを放置してしまう

関係機関に声をかけて定期的に集まるが  
住民からの生きた情報が届かない

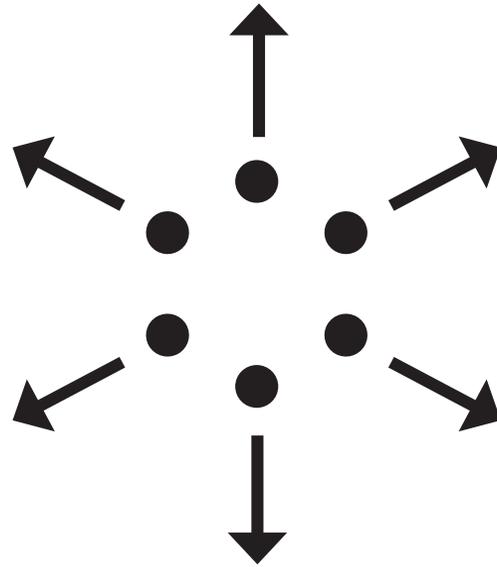
地域の中で住民が顔を合わせる機会がない  
→住民がSOSを発しているも他の地域住民は  
気づかない  
→仮に気づいたとしても一人では対応  
できないので見て見ぬ振りをする  
→人によっては相談機関に個別に相談する

そもそも、みなさん自身は、  
地域とつながることを求めていますか？

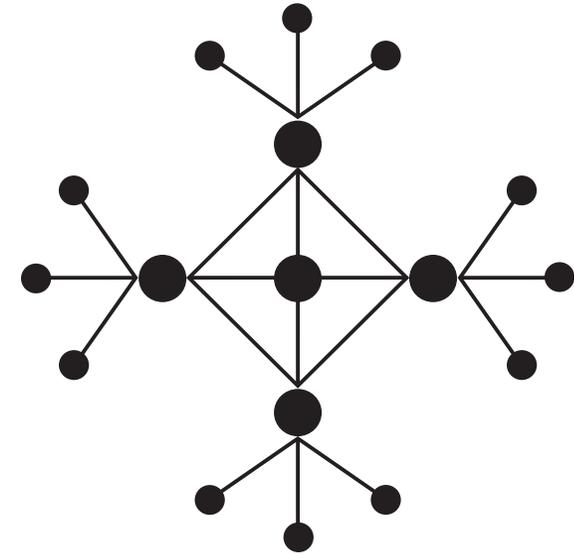
# リーダーシップの3つの形態



ドット・リーダーシップ



バラバラのリーダーシップ



スノーフレイク・  
リーダーシップ

# 戦略

🧠 HEAD/ 頭



# ナラティブ

❤️ HEART/ 心



# 行動

👉 HAND/ 手

# 価値観を 行動の源泉に

 価値観

VALUES



 感情

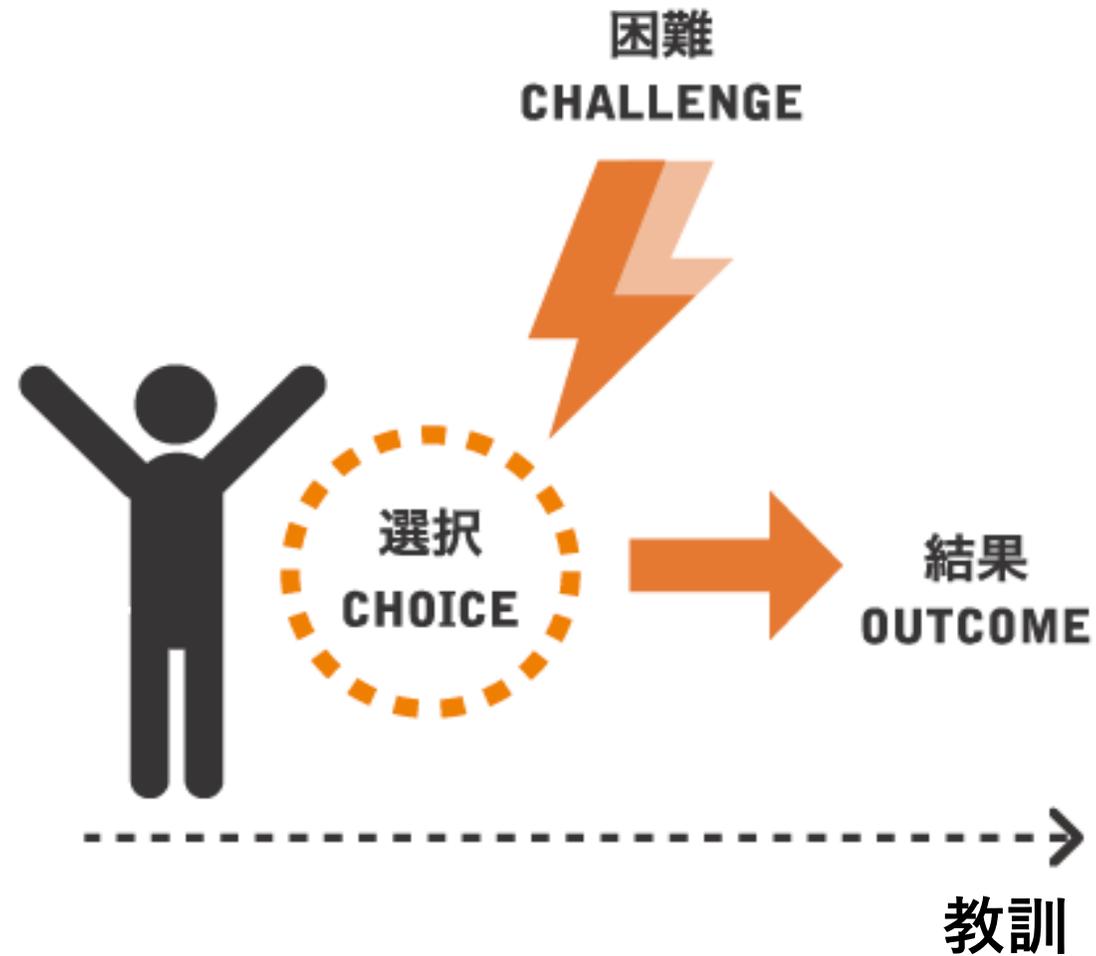
EMOTION



 行動

ACTION

# 物語の構造



# 物語を語るということ

みなさんは物語を語っていますか？

みなさんは他の人が物語を語る  
サポートをしていますか？

# 物語を語るということ

なぜ外国にルーツがある人への  
支援が必要なのか

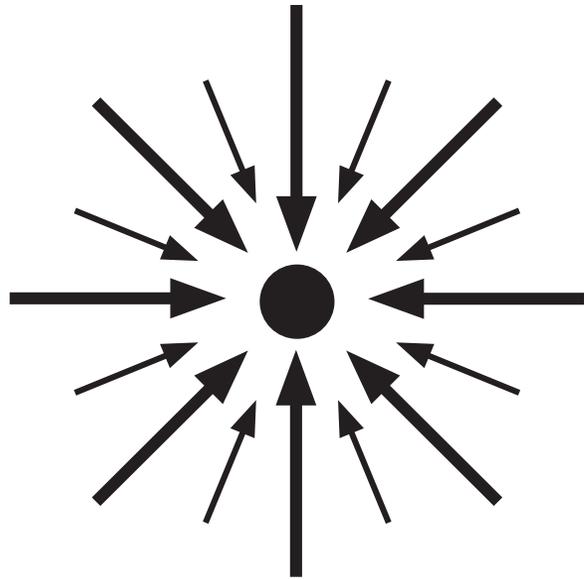


# 物語を語るということ

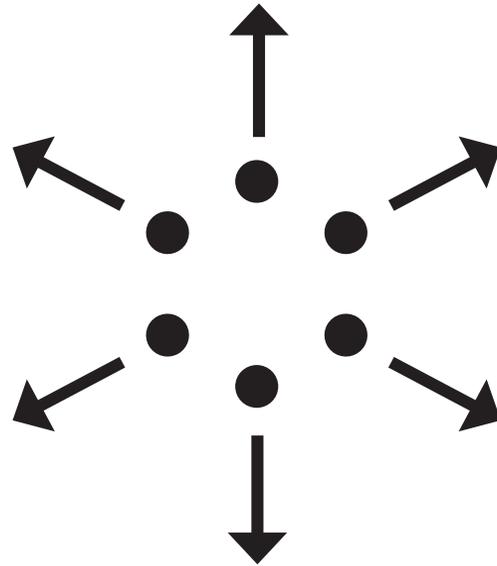
なぜ民生・児童委員活動を  
続けるのか



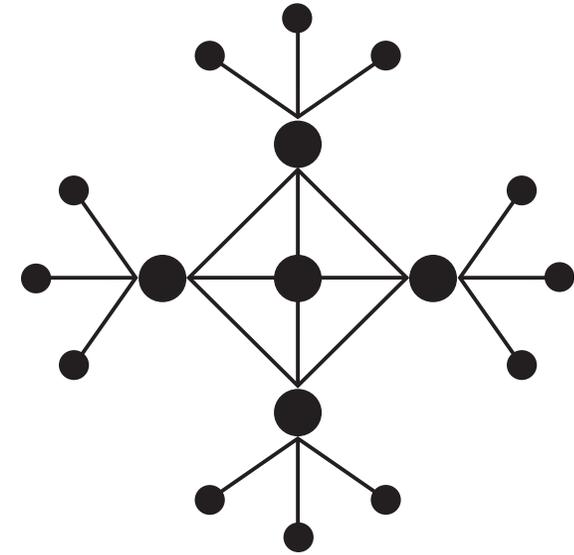
# リーダーシップの3つの形態



ドット・リーダーシップ

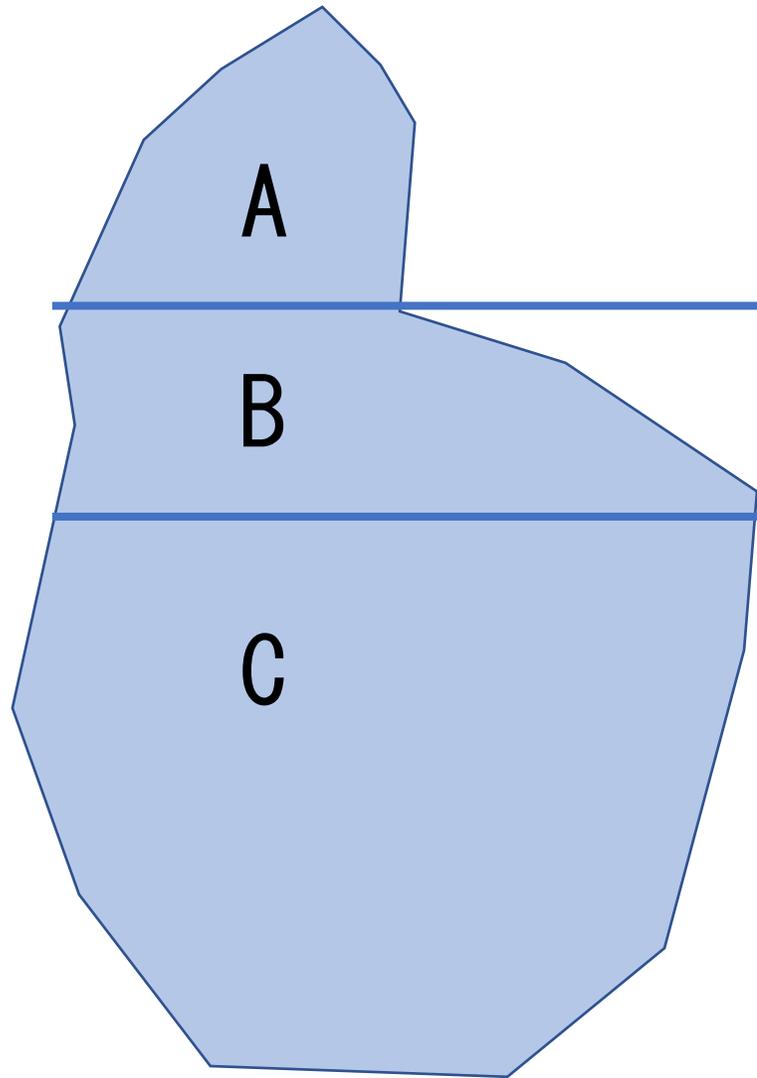


バラバラのリーダーシップ



スノーフレイク・  
リーダーシップ

# 住民活動 の構造



- 包括的な相談支援体制
- 参加支援の仕組み

- プラットフォーム
- 協議体
- ネットワーク

- 従来から存続する地縁関係
- 顔見知り、お互い様の関係
- 地域の活動などに参加・協力する関係
- 問題意識を共有する関係
- 住民/当事者の中に培われるリーダーシップ

# 戦略

🧠 HEAD/ 頭



# ナラティブ

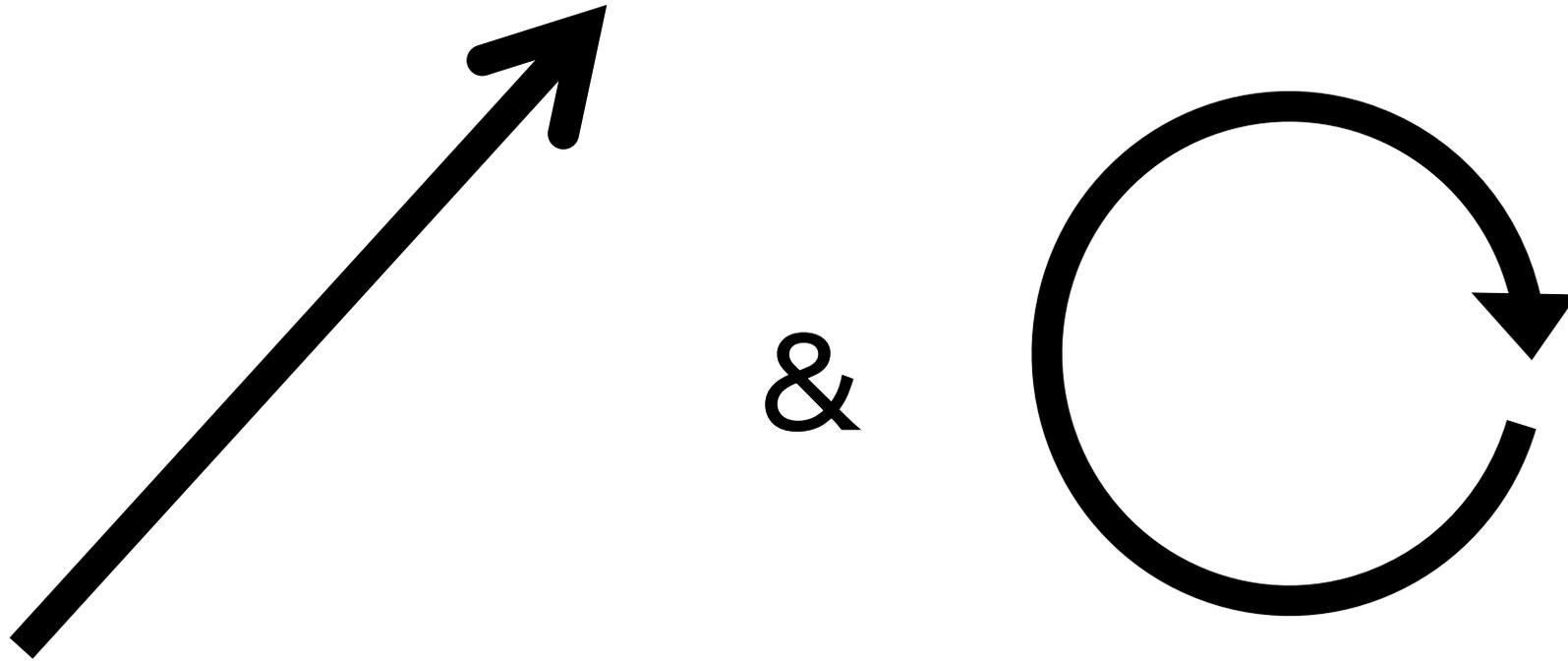
❤️ HEART/ 心



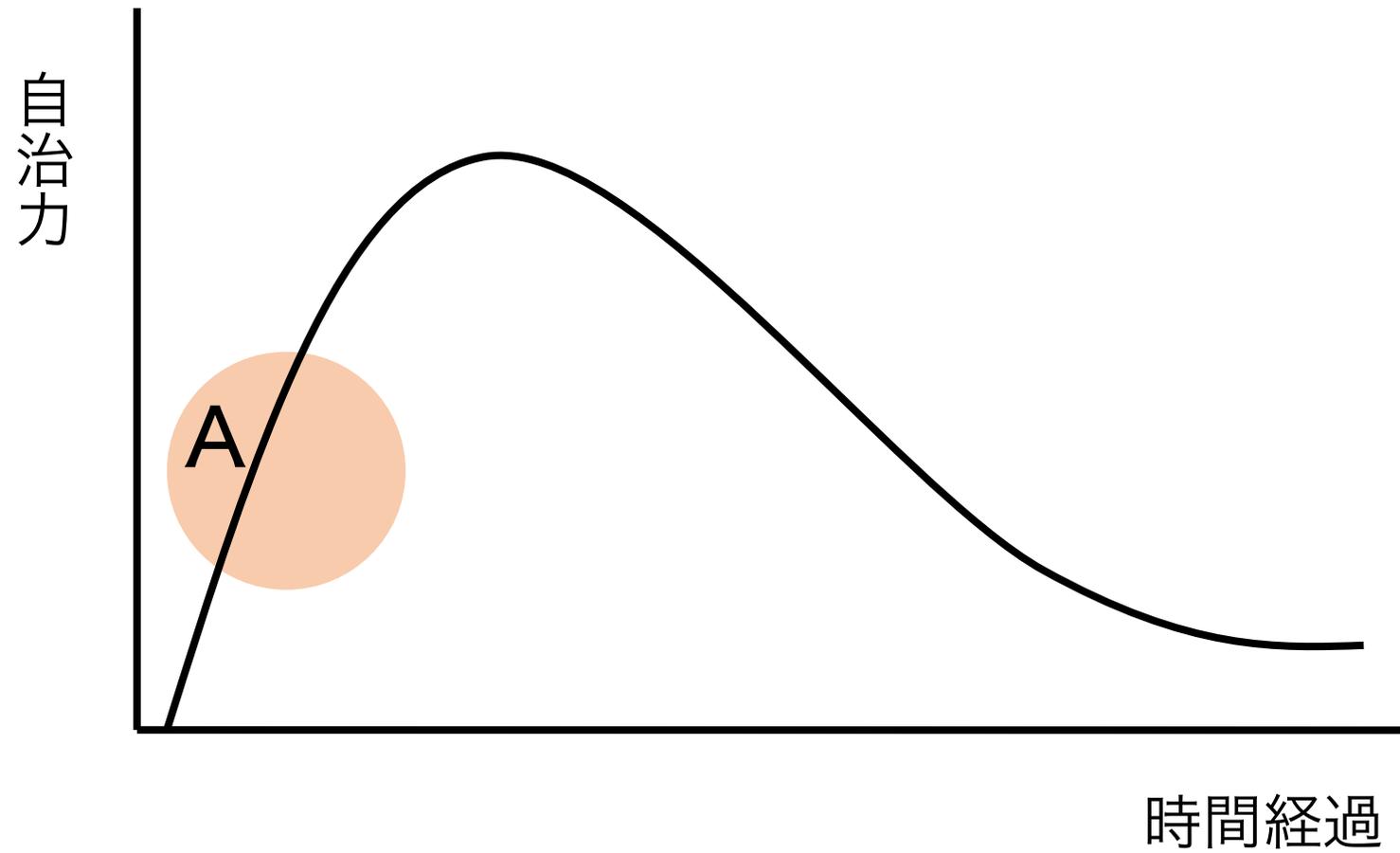
# 行動

👉 HAND/ 手

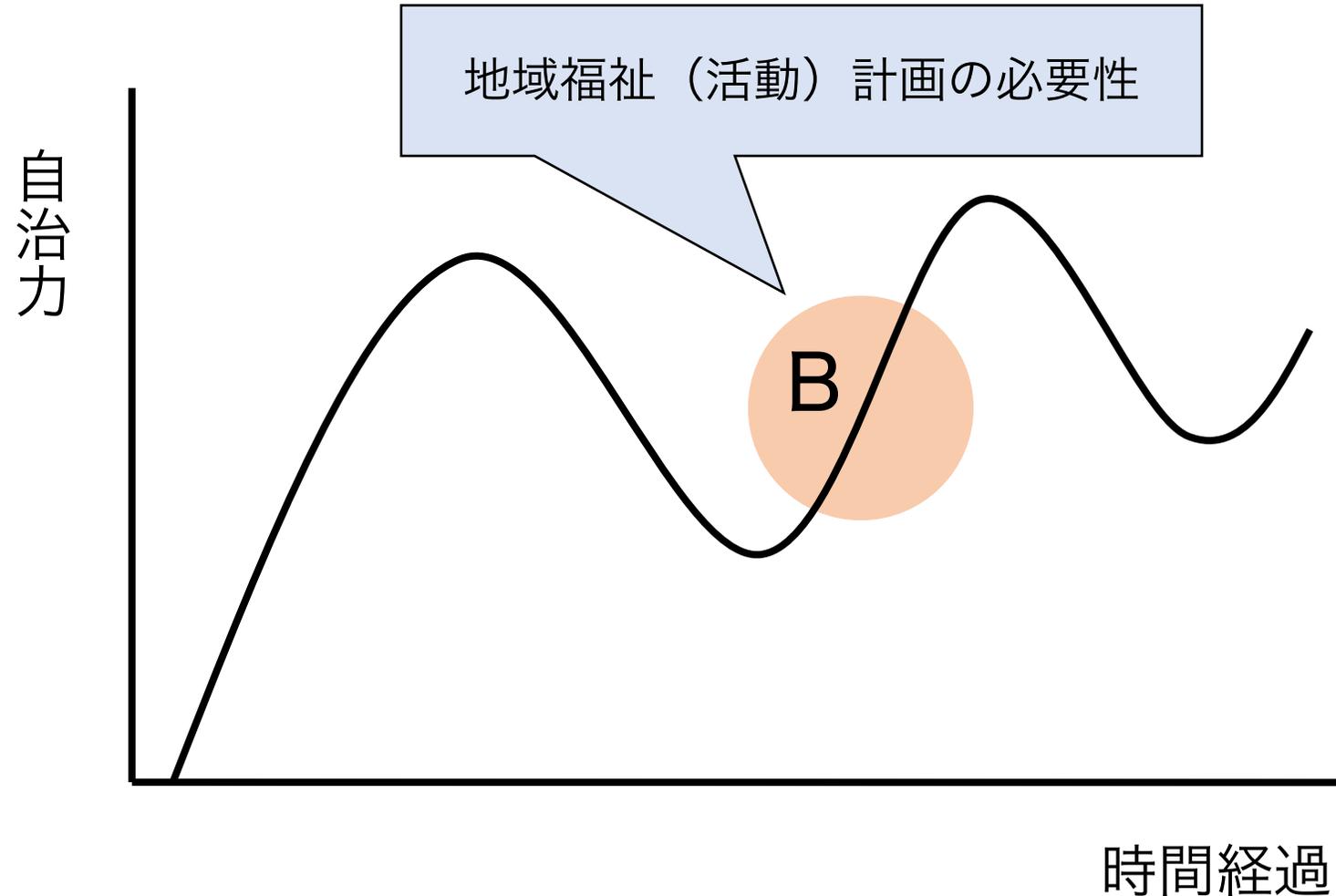
# 時間の捉え方



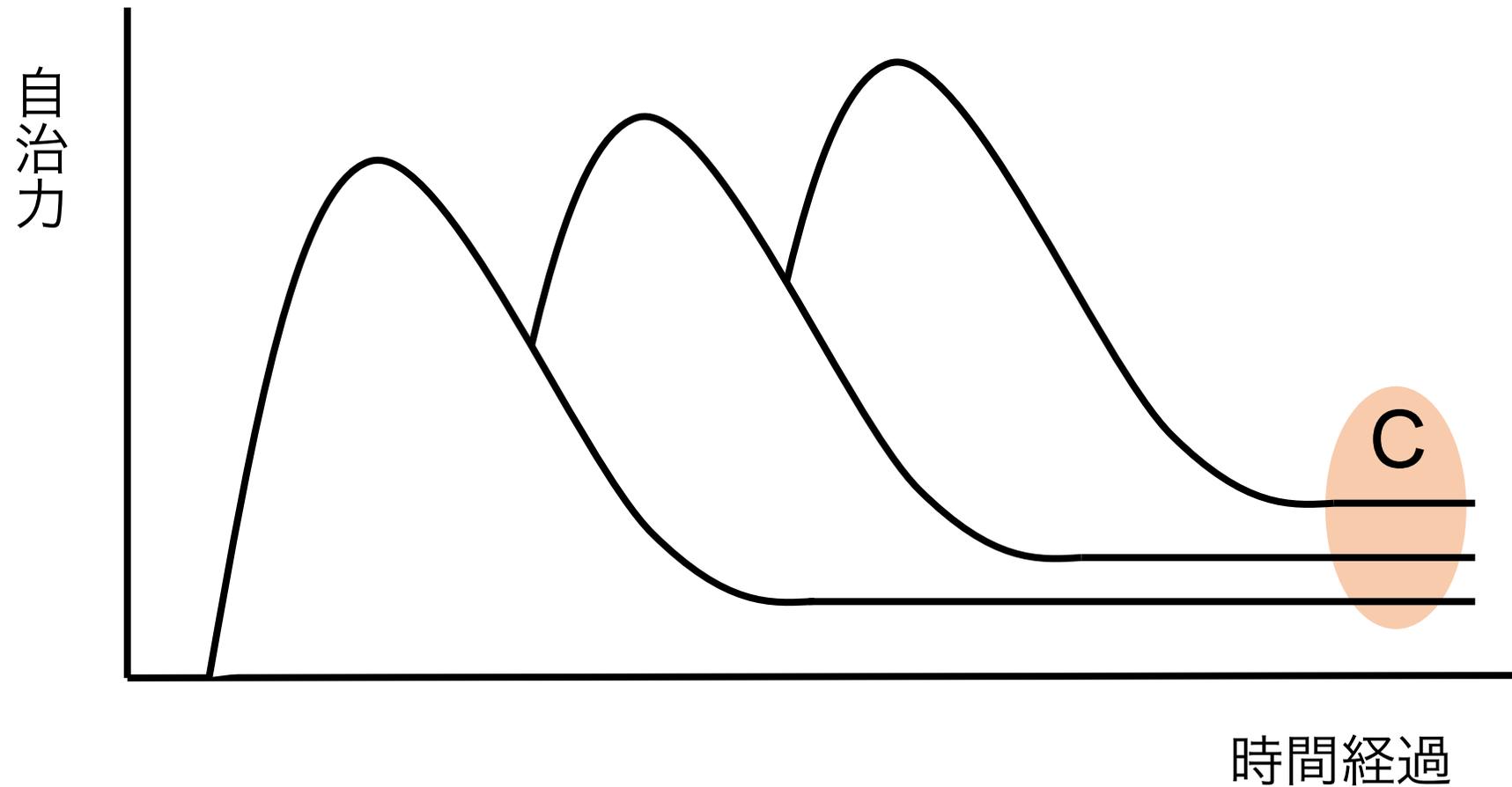
# 活動の盛り上がり



# 活動の盛り上がり



# 活動の盛り上がり



# 活動の盛り上がり

